

【図版を使った問題】（難易度：やや難）

文章の下線部と関連する図版を参照して、後の問に答えなさい。なお下線と図版の記号はそれぞれ関連している。

18 世紀後半から 19 世紀前半にかけて、大西洋を囲む北アメリカ東岸、ヨーロッパ、ラテンアメリカなどの地域では次々に革命が起こった。

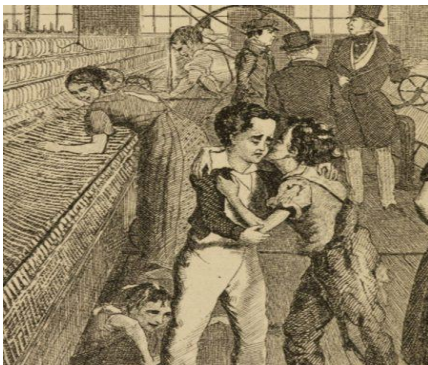
18 世紀、英仏両国は「第2次英仏百年戦争」を展開していた。七年戦争とフレンチ=インディアン戦争に勝利したイギリスは、北アメリカ大陸からフランス勢力を駆逐し、西インド諸島にも植民地を拡大した。大西洋三角貿易の展開により、A イギリス産業革命が本格化し、B さまざまな機械が発明された。

しかし、英仏両国は戦費拡大のため赤字財政となった。赤字解消のため、イギリスは北アメリカ東部の C13 植民地に対する課税の強化を図った。植民地の権利と自由を求める人々は、イギリスの政策に反発を強め、ついにはアメリカ独立戦争を起こすことになった。各植民地代表による D 大陸会議は独立を訴え、植民地側は E ヨーロッパ諸国の支援を得て最終的に勝利し、1783 年アメリカ合衆国は独立を承認された。

七年戦争に敗北したフランスは財政改革を行ったが、アメリカ独立戦争参戦で F 財政破綻が明らかになった。財政破綻の打開策として開催された全国三部会をきっかけに革命が勃発した。革命の政治形態は、G 絶対王政、立憲君主政、共和政と変化していった。フランス革命で絶対王政は倒れたが、国内の分裂が激しく政局は安定せず、ナポレオンのクーデタにより革命は終わった。独裁権を握ったナポレオンは H ヨーロッパ全土に進出したため、ヨーロッパ諸国にはフランス革命の思想が広まった。

アメリカ独立革命・フランス革命の影響は、ヨーロッパの植民地であった中南米の諸地域にも及んだ。ナポレオンの支配によるヨーロッパ諸国の動揺を背景に、19 世紀前半には I 中米や J 南米で独立運動が展開した。これらの独立運動はイギリスの支持とアメリカの牽制により進展していった。

A



問1 イギリス産業革命に関連して述べた文 XとY の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

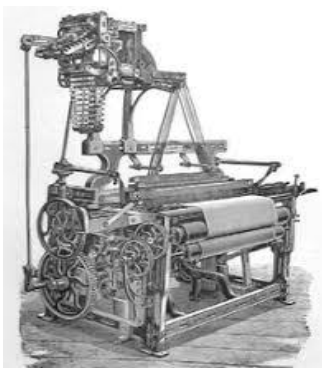
X 工場労働者となった子供や女性は高賃金で雇用され、労働環境は良かった。

Y 機械に対する反発からラダイト運動が起こった。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

チャールズ=ディケンズの『オリバー=ツイスト』の挿絵

B



問2 1785 年に発明された力織機について述べた文 XとY の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

X カートライトが発明した。

Y この機械は動力源に主に蒸気機関を利用した。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

C



問3 この絵には1765年に成立したある法に反対する人々が、国王派の税関職員に*「タールの刑」を処している場面が描かれている。この法に当てはまるものを選びなさい。

注 *熱したタールを塗り、羽毛をまぶす羞恥を伴う私刑（リンチ）

- ① 印紙法
- ② 茶法
- ③ 航海法
- ④ 工場法

D



問4 この絵の右側には、第2回大陸会議に参加している*五人の委員が描かれている。この会議に当てはまらない文章を選び番号で答えなさい。

注 *左からジョン=アダムズ、トマス=ジェファソン、ベンジャミン=フランクリン、ロバート=リビングストン、ロジャー=シャーマン

アメリカ合衆国の2ドル紙幣（裏面）

- ① フランクリンが植民地軍総司令官に任命された。
- ② ジェファソンらが起草した独立宣言が採択された。
- ③ レキシントンの戦い後に開催された。
- ④ フィラデルフィアで開催された。

E



問5 この絵の人物はアメリカ独立戦争に義勇兵として参加し、1784年ポーランドに帰国した。この人物について述べた文 XとY の正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

X 第2回ポーランド分割に反対して蜂起しロシア軍と戦った。

Y フランスの支援により民衆を組織した蜂起を行い、独立を達成した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

F



問6 この絵の人物はスイス出身の銀行家で、財務総監として財政問題に対処した。この人物について述べた記述として、正しいものを選び、番号で答えなさい。

- ① 重農主義者であり、穀物取引の自由化、ギルドの廃止などの自由改革を行った。
- ② 『第三身分とは何か』を著し、特権身分を批判した。
- ③ アメリカ独立戦争に義勇兵として参加し、フランス革命時は立憲君主政を主張した。
- ④ 特権階級への課税、全国三部会において第三身分の代表の議席数を増やすことを提案した。

G I



II



III



IV



V



VI



問7 上の6つの図版は、「国王の処刑」「テニスコート（球戯場）の誓い」「8月10日事件」「ヴェルサイユ行進」「テルミドールのクーデタ」「ヴァレンヌ逃亡事件」のいずれかに関連するものである。

図版（I）～（VI）に最も関連の深い文章を選び、それぞれ番号で答えなさい。

- ① 憲法制定までは国民議회를解散しないことを誓った。
- ② 国王一家が国外に逃亡を企てたが失敗した。
- ③ 国王は国民議会が採択した封建的特権の廃止宣言と人権宣言を認めた。
- ④ イギリス首相ピットは対仏大同盟の結成を呼び掛けた。
- ⑤ 王権は停止され、フランスは実質的に共和政となった。
- ⑥ 山岳（ジャコバン）派に代わり穏健共和派が国民公会の主導権を握った。

H



問8 この絵に最も関連の深い文章を選び、番号で答えなさい。

- ① フランス軍がスペイン民衆を弾圧した。
- ② フランス軍はロシア・オーストリア軍と戦った。
- ③ フランス義勇兵がプロイセン軍に勝利した。
- ④ フランス軍はモスクワを占領したが、遠征は失敗した。

ゴヤの「1808年5月3日」

I



トゥサン＝ルヴェルチュール

問9 この人物について述べた文XとYの正誤の組み合わせとして正しい番号を選びなさい。

X スペインからの植民地支配を脱し、共和国ハイチを独立させた。

Y もと黒人奴隷であった。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

J



問10 この絵の人物はラテンアメリカの独立運動を指導した一人である。この人物やサン＝マルティンなどのラテンアメリカの独立運動の中心となった人々の呼称を選び、番号で答えなさい。

- ① ムラート
- ② メスティーソ
- ③ クリオーリョ
- ④ ペニンスラル

解答

問1 ③ 問2 ① 問3 ①

問7 I ③ II ⑥ III ②

問8 ① 問9 ③ 問10 ③

問4 ① 問5 ② 問6 ④

IV ① V ⑤ VI ④

2点×15